

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AT306／文学講義 306 (Lectures on Literature 306)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本文学史・中世2		
担当者名 (Instructor)	木村 淳也(KIMURA JUNYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この講座は、古代～中世の文学における「異界」をテーマとし、これらを総合的に捉えることを目標とするものです。異界や異国を取り扱った作品を読むことで、当時の日本人の世界観をより深く理解し、現在の我々が持つ世界観との相違を知ることを狙いとしています。

The theme of this course is "another world" in Japanese ancient and medieval literature. The goal is for students to learn about these things comprehensively.

Students will understand the Japanese world view by reading ancient Japanese literature and medieval literature dealing with another worlds and strangers.

授業の内容(Course Contents)

現代に生きる我々は、宇宙や深海、あるいは死後といった未知の世界と、そこに住まうモノに対して、しばしば想像力を逞しくしながら憧憬や恐怖の感情を抱きます。それはもちろん、日本の古代～中世を生きた人々にとっても同じことであつたと考えられます。

古代の文学には、一体どのような異界や異人(神)が記されているのでしょうか。そして、それを後代の人々はどのように受け入れ、再解釈し、さらに新たな異界や異人をテキスト上に生み出していったのでしょうか。古代～中世のテキストを読むことで、文学史的に把握できればと考えています。

また、そのような過去の人々の異世界や異人に対する思想や思考が、歴史的・文化的な流れの末端に位置する我々に対して、一体どのような影響を及ぼしているのかを考えながら授業に臨んでほしいと思います。

We often have longing and fear for another worlds (space, deep sea, afterlife) and strangers.

Similarly, people who lived in the ancient and medieval times of Japan are thought to have had various feelings toward another worlds and strangers.

Various another worlds and strangers are described in Japanese ancient literature and medieval literature.

By reading those texts, students will learn about the Japanese worldview of ancient and medieval times.

In addition, Students should take the initiative to think about how these view of the world affect themselves.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション・履修上の注意
2. 異界と日本文学
3. 神話の異世界1(記紀・風土記の天上世界)
4. 神話の異世界2(記紀・風土記の地下世界)
5. 神話の異世界3(海の世界・山の世界)
6. 「夢」という異空間
7. 物語文学と異界
8. 地獄と楽土1(地獄の誕生・『日本霊異記』)
9. 地獄と楽土2(『往生要集』から『平家物語』、奈良絵本へ)
10. 中世における神の変貌(中世神話の神・異界)
11. 異界訪問譚の変奏(御伽草子ほか)
12. 異郷・他国の物語1(「日本」とはどこまでか?)
13. 異郷・他国の物語2(漂流譚と他国へのまなざし)
14. 補遺・前期授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

最終レポートは、授業を受講することで生まれた自分なりの「問い」を調査・研究することが求められます。配布された資料を復習するほか、授業で示された参考文献等を積極的に読み進めるなどして、レポートの執筆につなげてください。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/授業貢献度(出席等)(30%)/中間レポート(30%)

オンラインにて授業実施の際は、授業の単元毎にリアクションペーパーの提出を求める場合があります。

テキスト(Textbooks)

授業内容が広範なため、授業毎に適宜プリントを用意して配布いたします。

参考文献(Readings)

授業の内容が複数テーマ・時代にまたがるため、授業中に随時紹介いたします。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)